

モバイル市場の競争環境に関する研究会（第17回）

KDDI株式会社

2019年9月11日

Tomorrow, Together おもしろいほうの未来へ。
KDDI *au*

5G時代における二種指定制度に係る課題について

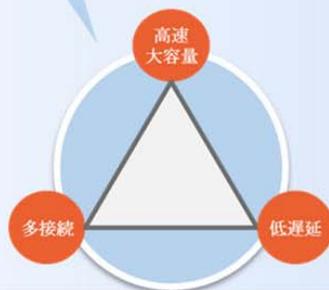
- MVNOによる5Gの円滑な提供開始
- 仮想化の進展等環境変化への対応
- eSIMの普及への対応

2020年3月より5Gサービスを正式に開始予定 プレ5Gサービスも先んじて提供予定

2019年

一部エリアから開始

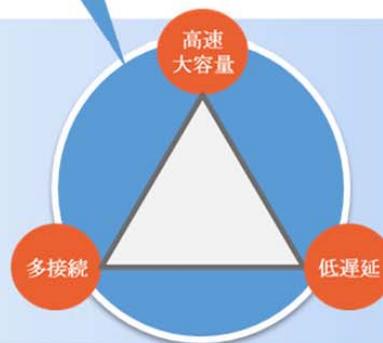
- ・ 高精細映像配信
- ・ スタジアムソリューション
- ・ ドローン警備



2020年

4Gとの連携による本格展開

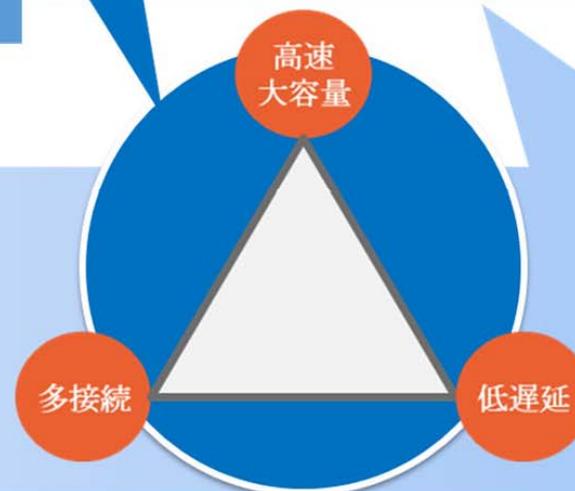
- ・ 大容量モバイルサービス
- ・ リモートオフィス
- ・ 遠隔操作 など



2021年～

5Gコアの導入

- ・ NWスライシング、MEC等の活用で様々なサービスを提供



5Gシステム導入によりBit単価を低減

データ量を気にせず大容量コンテンツを
楽しめる安価なプランを提供予定

auスマートパスのようなサービス、
スポーツの取り組みなど様々なお客様が、
様々な利用シーンにおいて
柔軟に対応できる料金設定を提供予定



日本初、データ容量上限なし料金プラン



au データMAXプラン





au UNLIMITED WORLD

つながり続ける時代、
料金を気にせず利用できる生活へ

新たなビジネスを社会に送り出す環境を整備
5G時代ならではの新しい体験価値をパートナーと共に開発

 **KDDI DIGITAL GATE**

2018年9月開設

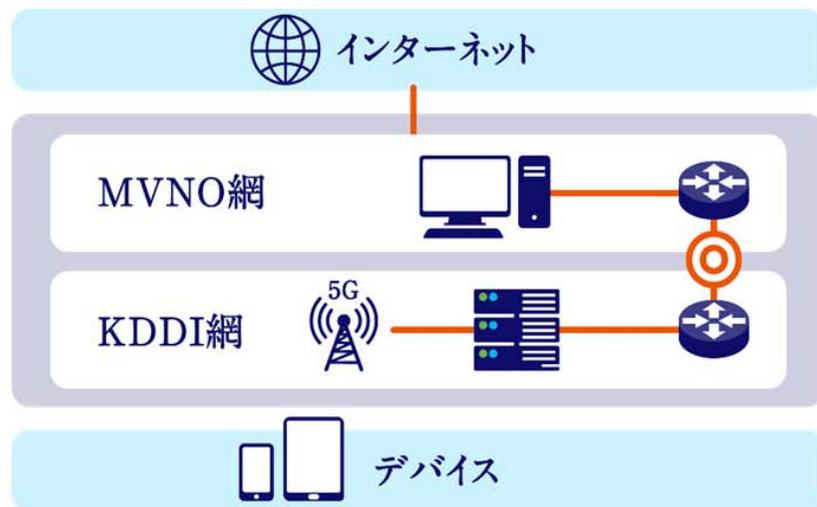


スタートアップ、大企業、コラボレーション

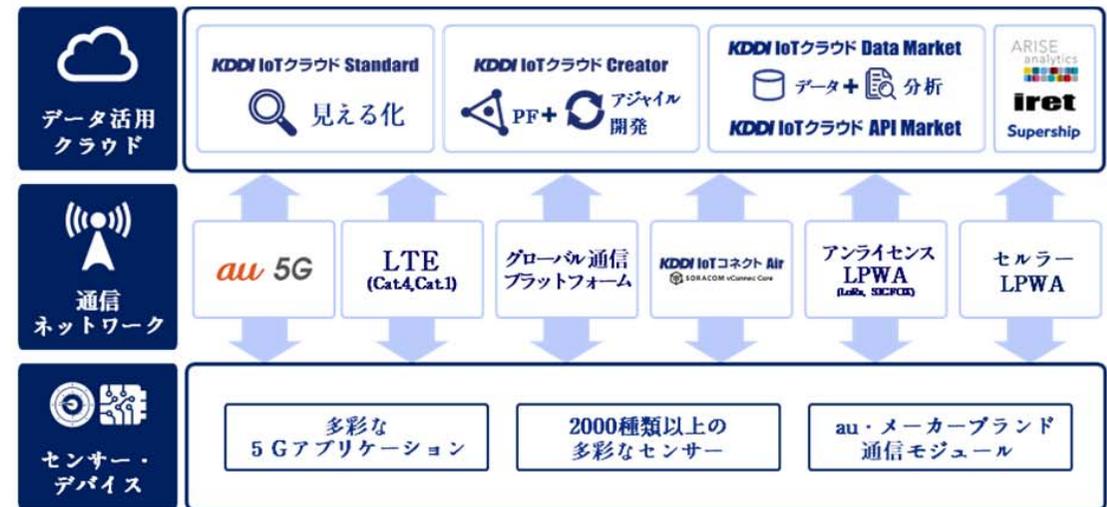
利用企業 **200社以上**

L2インターフェース接続やIoTプラットフォーム等の
当社の5Gネットワークを活用できる環境整備を計画

L2インターフェース接続

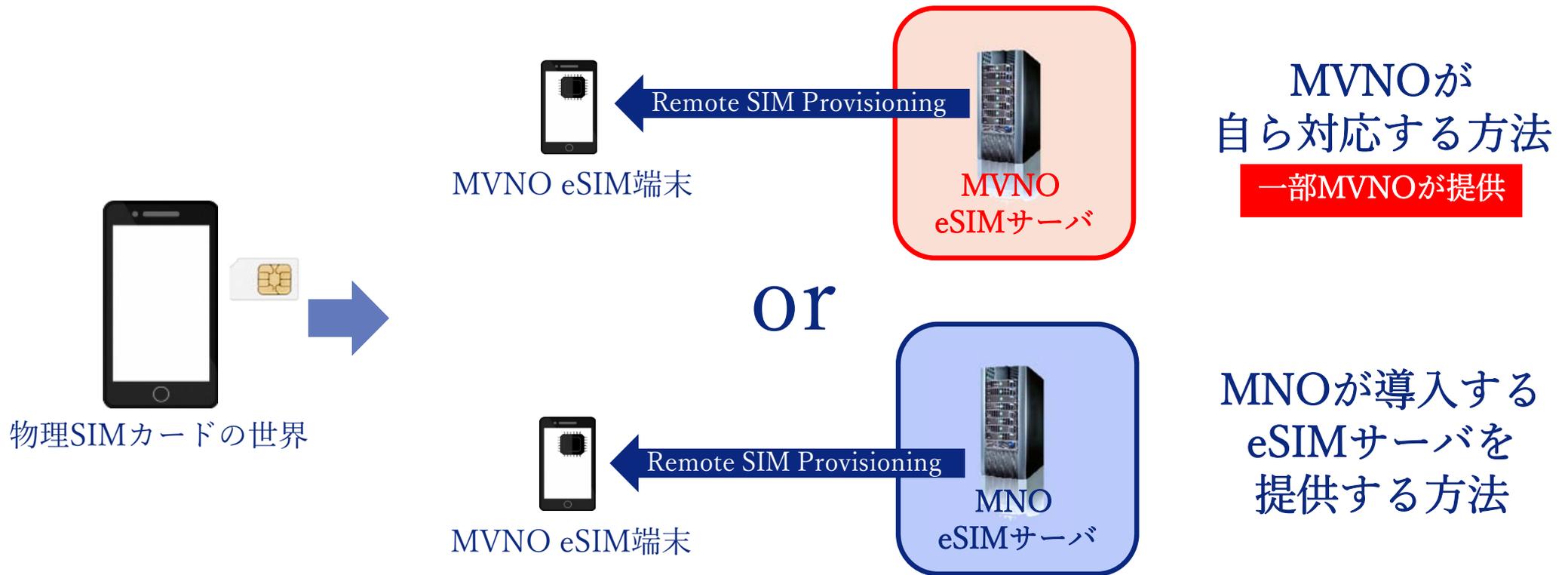


IoTプラットフォーム



今秋以降、MVNOへの情報提供を準備中

当社は、プリペイド型データ通信サービスや全世界IoT端末向け等、限定的な用途において提供開始



MVNOへの提供は今後のご要望を踏まえて検討する考え

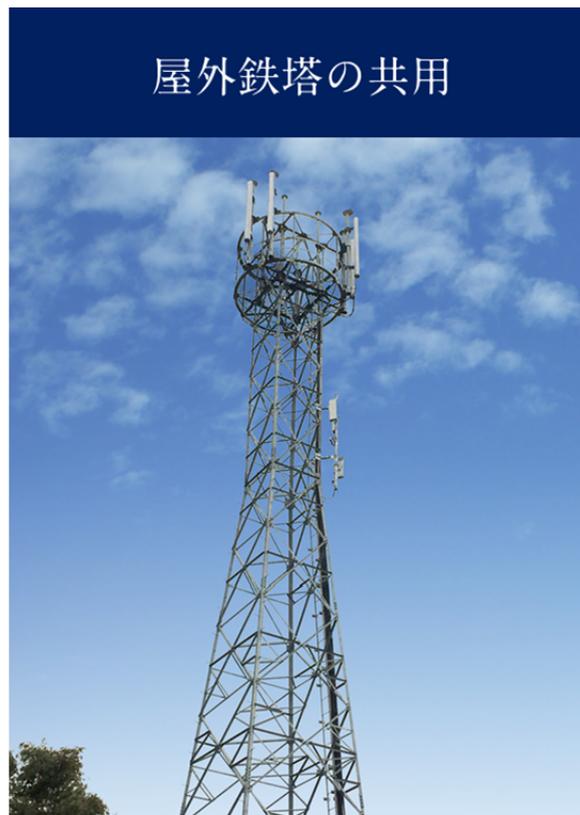
様々な5Gサービスの創造に向けた基盤整備

様々なニーズに対応すべく、5G基盤の整備が急務

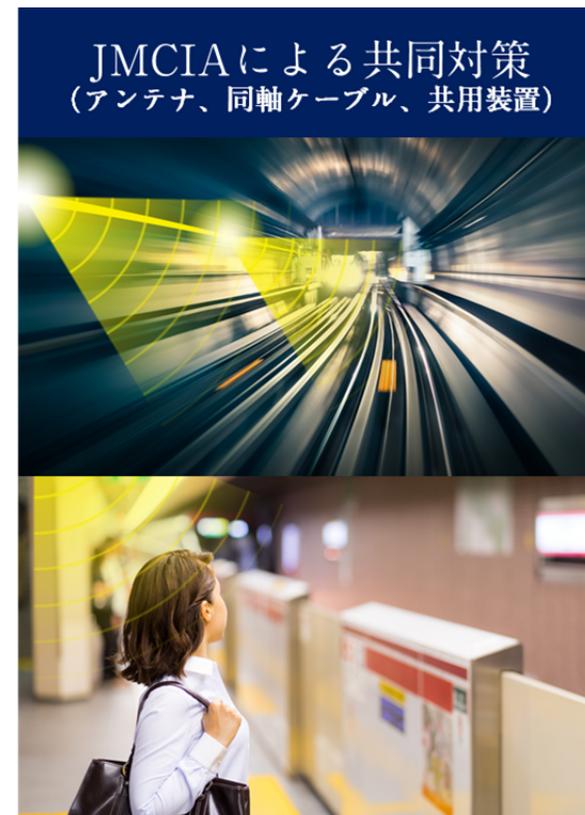


5G基盤整備にあたっては
JMCIAのような共用対策の活用
さらに事業者間においても
設備共用の促進が重要に

屋外鉄塔の共用



JMCIAによる共同対策
(アンテナ、同軸ケーブル、共用装置)



※JMCIA:移動通信基盤整備協会

サービスに応じて柔軟・迅速な提供を実現する 仮想ネットワークやスライシング技術の実証を推進中

MECのユースケースを、 お客様と共創

お客様の低遅延要件に応じて
必要な機能やサービス基盤を提供する

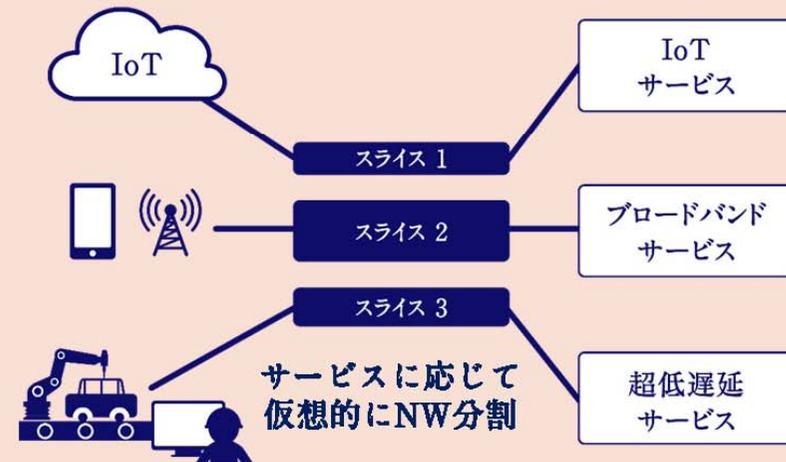


リアルタイム性・応答性の改善
端末処理のオフロード

※MEC:Multi-access Edge Computing

ネットワークスライシングにより、 安定したサービスを提供

サービスに応じてネットワークリソースを仮想的に
分割し、例えば安定した低遅延サービスの提供を検討



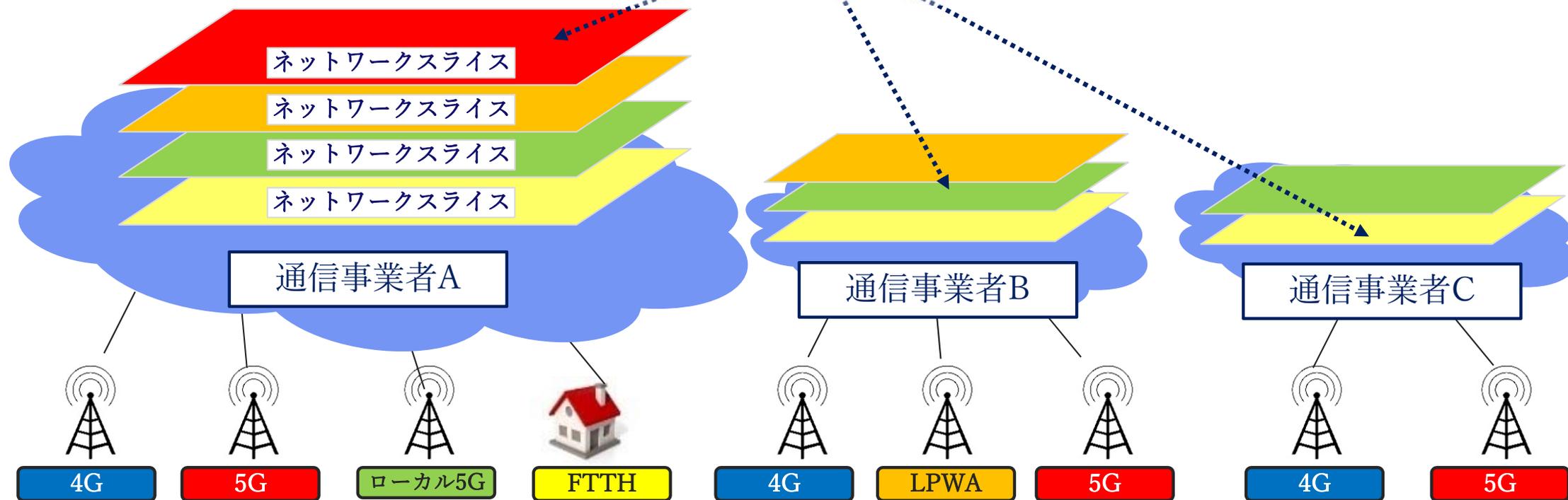
サービスに応じて
仮想的にNW分割

ネットワークを選択する側の優位性の拡大

数多くの選択肢から利用したいネットワークを選択しやすい環境が実現し、無線リソースの潤沢化
これまでのMNOとMVNOの関係性が変化

MVNO

各通信事業者から利用したい機能やネットワークを自由に選択



5G割り当てにより潤沢な無線リソースの提供が可能

新たな技術の浸透や市場環境の変化を踏まえ、
モバイルにおける指定設備制度の規制の在り方も検討が必要

事業者間
設備共用の促進

仮想化・スライシング化
による固定と移動の融合

ネットワークレイヤの
価値低下

今後起こり得る環境変化

無線リソースの多様化

無線リソースの
活用方法の進化

電波の希少性の解消



KDDIはMVNOを含めたパートナーの皆様とともに
5G時代の新たな体験価値を創出していきます

Tomorrow, Together
KDDI

おもしろいほうの未来へ。

au